



【記念講演をする麻木久仁子さん (2~8頁)】

目次

●市立病院 第3次整備事業が竣工 … 2～3	●話題の広場…………… 7
●ねっとわーく	がんサロン結(ゆい)にご参加ください
ささき医院…………… 4	●情報カプセル…………… 7
森山医院…………… 5	持参薬とは
●ゆうゆう開設20周年記念	●職場紹介…………… 7
講演会を開催…………… 4～5	薬剤科 その②(調剤室)
●かかりつけ医を持ちましょう…………… 6	●新任医師の紹介…………… 8

飯田市立病院 基本理念

私たちは、地域の皆さんの健康を支え信頼される医療を実践します

飯田市立病院 基本方針

- 1 私たちは、安全・安心で良質な医療を提供します
- 2 私たちは、患者さんの権利と意思を尊重し、患者さんの立場に立った医療を実践します
- 3 私たちは、地域の保健、医療、福祉機関と密接に連携します
- 4 私たちは、教育・研修機能を高め、医療水準の向上と、職員が誇りややりがいの持てる職場づくりを行います
- 5 私たちは、公共性と経済性を考慮し、健全な経営に努めます

飯田市立病院 理念行動指針

私たちは、誠意 熱意 創意をもって医療を実践します

市立病院 第3次

南棟
(救命救急センターなど)



救急外来、救急病床
救急ICUを集約

第3次整備事業竣工にあたって

院長 金子源吾

平成4年にこの病院に移転して以来、第3次となる大規模な増加改築工事に取組んできました。

平成24年3月に着工以来、南棟と北棟を増築し、昨年4月に南棟が完成して救命救急センターの運用が始まり、北棟の周産期センターは平成26年1月から運用開始。3月には全ての工事が完成し、がん診療・緩和ケアセンターの運用も始まりました。

それぞれの施設は、将来を考え十分な広さを確保し、新しい医療機器も備え、入院や治療環境の充実を図っています。

重症患者に対し入院・外来とも一体的に治療できる救命救急センターの充実、当地域の分娩を守る地域周産期センターの拡充、外来化学療法室や緩和ケア内科外来、がんサロン「結」、がん相談支援センターなど地域がん診療連携拠点病院としての施設の充実など、どれも当院の役割を果たすために必要な施設整備です。

市立病院はこれからも地域内の医療機関と連携を深め、地域住民の皆様が安心して必要な医療が受けられるよう努めていきます。



整備事業が竣工

平成24年3月に着手しました第3次整備事業が、このたび竣工しました。

この事業は、『「救急」「周産期」「がん」などの診療機能の充実』『レストランや売店などのサービス部門の改善』『災害拠点病院としての機能の向上』を整備の柱として実施したものです。

南棟・北棟の増築と、本館1階・2階の改修などを順次行い、救命救急センターは平成25年4月から、周産期センターは平成26年1月から、がん診療・緩和ケアセンターは平成26年3月から運用を始めています。

また、竣工を記念して式典行い、女優の麻木久仁子さんを招いて講演会を開催しました。

既存施設改修

(がん診療・緩和ケアセンターなど)

外来化学療法室、緩和ケア内科外来等を一体的に配置し「がん診療・緩和ケアセンター」として整備
レストランや売店などのサービス部門は、車椅子でも利用しやすいよう面積を拡大



北棟

(周産期センターなど)

周産期センター(分娩部門、新生児部門、産科病棟)をワンフロアーで配置



3月29日(土)午後、鼎文化センターにおいて関係者御出席のもと、竣工式を行いました。

竣工式に引き続き、記念事業として、麻木久仁子さんの講演会を行いました。講演会は2部構成で、第1部は麻木さんの「50歳を前にして見つかった乳がんー今だから話せる人生観とはー」と題しての講演、第2部は金子院長が座長となり、新宮乳腺内分泌外科部長が加わった3人の座談会を行いました。その中で、麻木さんは、主治医の先生を信頼すること、早期発見が大切であることなどを説かれました。検診については、自分は絶対に乳がんを発しない体質だと信じていたところ、あるきっかけで検診を受け乳がんを早期に発見できたとのことで、検診を受けることの大切さを訴えられました。そして、講演会に来られた方、お一人お一人が、それぞれ3人の方に検診を呼びかけ、そして、その3人がまた3人に呼びかけるようにすれば、多くの方が救われていくのではないかと話されました。

また、ロビーにおいて、がんに関するポスター展示を行い、来場された皆様にごん医療についての情報提供も行いました。





ささき医院

(飯田市中央通り)



子供から高齢の方まで皆さまのかかりつけ医に

ささき医院院長 佐々木樹朗

私は飯田で生まれ育ちました。昭和58年(1983年)に日本大学医学部を卒業し、駿河台日大病院循環器科へ入り、心臓病、高血圧、不整脈、救急救命医療等を中心に内科全般を幅広く学ばせていただきました。

平成6年に飯田の地へ帰郷しました。当時の飯田市立高松分院内科で6年間診療を担当させていただき、平成12年より父の医院を継承し、内科小児科として診療させていただいています。

お子さまから高齢の方まで地域の皆様のお力になりたいと考えています。

かぜ、腹痛等の急性疾患から

高血圧、糖尿病等の慢性疾患まで対応していますが、入院を要する方や精密検査の必要な方にはどうしても市立病院へお願いすることも多く、突然の電話でのお願いにも、いつも迅速に対応させていただき感謝しております。

つらい表情の患者さんが少しでも楽になっていただけるよう、総合診療医として笑顔のスタッフと共に微力を尽くしてゆこうと考えています。



佐々木先生(前列中央)とスタッフの皆様

所在地 〒395-0041 飯田市中央通り3-44

☎0265-22-0059

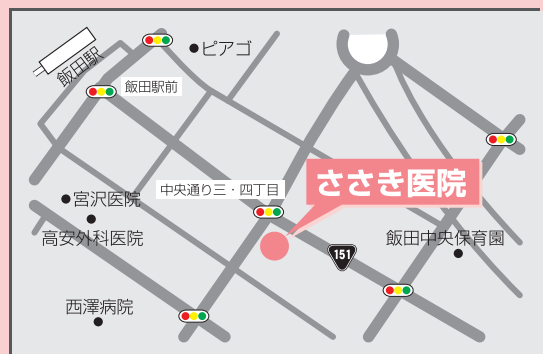
診療科目 内科・循環器内科・小児科

受付時間 8:30~12:30 / 15:00~18:30

休診日 水曜日午後 土曜日午後 日曜日 祝日

往診 可

駐車場 あり



ゆうゆう開設20周年記念講演会を開催



飯田市立病院介護老人保健施設ゆうゆうでは、平成5年4月1日に旧上郷町老人保健施設として開設後、飯田市との合併、介護保険制度の導入、高松分院の閉院、新施設への改築を経て、20年の節目となったことを記念して、高齢社会の生き方や介護に関する市民の皆さんの理解をより深めていただこうと2月1日に講演会を開催しました。当日は、地元上郷地区の皆さんをはじめ、介護保険事業関係者の方、ゆうゆう利用者ご家族の皆さん、職員など

登録医紹介

登録医とは共同診療、検査機器の利用、研修参加などを一緒に行って、より良質な医療を地域の皆様に提供するため、協力いただいている医療機関です。

森山医院

(飯田市丸山町)



皆さんの笑顔のために

森山医院院長 森山 聡

私は飯田市の出身で、仙台の東北大学に進みました。初期研修は福島原発に近いいわき市で行い、その後母校の消化器内科に入局しました。医局時代の9年間はほとんど毎日胃カメラを使った検査や治療に明け暮れておりました。その後岩手県の水沢市(現在の奥州市)の病院に2年半勤務した後、平成11年に飯田に戻り、飯田病院内科に入職しました。東北地方での生活が長かったため、3年前の震災については今でも心が痛みます。

平成18年1月に飯田市丸山町に森山医院を開院しました。勤務医時代には主に消化器疾患の診療に携わっておりましたが、開業後は内科全般を診ております。

診療所を始めるにあたり心がけたことは、「怖くない」ことです。健康な方にとって医療機関は本来縁遠いもので、出来ればかかりたくない場所であろうかと思えます。そこで、病気で通院を余儀なくされた時には、その不安や不満を少しでも減らすためのお手伝いがしたいと思えます。また検診の精査などで、自覚症状もないまま受診を勧められた方にはその必要性についてなるべく納得していただけるような説明を心がけています。患者さんは自分の時間を割いて足を運んでくださるわけですから、それぞれのニーズに応える必要があると思えます。とはいえ個人の力に限りがあるのも事実です。飯

田市立病院をはじめ、地域の医療機関の皆様にはいつもスムーズな病診連携を図っていただき大変感謝いたしております。

これからも地域の皆さんが笑顔で過ごすことの出来るよう微力ながら日々の診療を続けていきたいと考えております。今後ともよろしくお願いいたします。



森山先生(前列)とスタッフの皆様

所在地	〒395-0077 飯田市丸山町2-6804-3 ☎0265-56-3211
診療科目	内科・消化器内科
診療時間	8:30~12:00 / 15:00~18:00
休診日	水曜日午後 土曜日午後 日曜日 祝日
往診	可
駐車場	あり



約130名の参加がありました。講師は、飯田市龍江出身で、早稲田大学名誉教授の嵯峨座晴夫さんをお迎えして、「心豊かで幸せな歳の重ね方~サクセスフルエイジングを目指して~」と題して講演をいただきました。講演で、サクセスフルエイジングとは、年齢とともに老いていくことを認識しつつ、そのことを受け入れながら社会生活に上手に適応して豊かな老後を迎えることを意味し、その条件として、健康、長寿、活動、満足の4点を挙げ、何のために生きるか、その目的としての生きがいが必要で、生きがいとは、人のために役割を持って生きることと強調されました。

超高齢化社会を迎えようとする中、健康で心豊かな暮らしを支えていくために、市民に親しまれ、期待に応えられるような施設になれるよう今後も職員一同努力を重ねて参ります。

かかりつけ医を持ちましょう

地域の誰もが「かかりつけ医」のある暮らしを



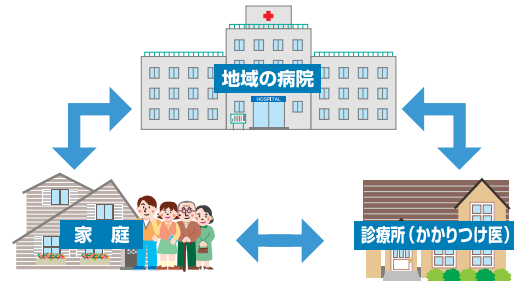
◆限られた医療資源を地域住民全体で共有する

私たちの暮らす飯田下伊那地域は、住民の皆さんに質の高い安心・安全な医療を受けていただくために、医療機関が各々の専門性を生かして、地域全体が一つの病院としての機能を持ち、患者さんの症状や経過に沿った切れ目のない医療を提供する「地域完結型の医療体制」を目指しています。

これにより、地域内の医療機関は、それぞれの機能と役割に基づいた、より専門性の高い医療を安定的に提供できるようになり、地域全体として医療の質が向上します。

飯田市立病院は、地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、新型救命救急センター、災害拠点病院ほか、地域の中核病院として担うべき数多くの指定を受けており、その役割と機能に基づいた質の高い医療を地域住民に提供する責任があります。初期診療をはじめとした一次医療は地域の診療所等が担当するといった役割分担を、より明確に示していく必要があります。そして、こうした医療の仕組みと地域の実情をしっかりと受け止めて、この地域に合った正しい病院へのかかり方を実践していくことが大切です。

飯田市立病院と地域の診療所は、症例検討会や共同カンファレンスを実施したり、専門医による勉強会を定期的に開催するなど、日々研鑽を重ねつつ、連携強化を図っています。医師同士の顔の見える関係づくりに努めながら、よりスムーズな患者さんの紹介、市立病院での治療後の速やかな診療所等への逆紹介に向けた努力を重ねています。



かかりつけ医の

ここがメリット

- ✓ 自分や家族の長年の医療情報が蓄積されているため、総合的な診療をしてくれる。
- ✓ 事前予約の必要がなく、平日の仕事帰りや土曜日なども診てくれる診療所が多い。
- ✓ 何かあればスムーズに専門医へ紹介してくれる。
- ✓ 家族の健康相談などにも気軽に応じてくれる。
- ✓ 往診可の診療所も多く、外出困難な患者さんにも手厚い診療が期待できる。
- ✓ 在宅医療の専門家であり、介護保険事業との連携にも強い。



市立病院の取組み紹介

◆地域連携パスの導入

市立病院専門医と地域の診療所医師が一つの診療計画に基づいた共同診療を行います。患者さんは、症状や経過に応じた医療を効率的かつ経済的に受けることができます。

◆医療連携マップでスムーズに診療所へ紹介

当院での治療が一旦終了した患者さんを地域の診療所へスムーズに紹介できるように、様々な検索項目から最適な医療機関を絞り込んで抽出できるシステムを開発しました。医療機関情報（診療科目、地図、診療時間、休診日ほか情報）は、印刷も可能で、必要があれば患者さんにお渡しできます。

がんサロン結(ゆい)にご参加ください

がんサロンは、がん患者さんやそのご家族が、不安や悩みについて相談したり語りあう場です。

毎月第1水曜日の午後2時から4時まで開催しており、前半1時間は月替わりで、ミニ講座やボランティアさんの協力により体験教室などを企画しています。後半1時間はフリートークでおしゃべりの時間です。

今回、がん診療・緩和ケアセンター内に緩和ケアサロンができましたので、26年4月からはここを会場として開催します。

緩和ケアサロンにはがんに関する書籍やパンフレットを用意してありますのでがんサロンのない日も気軽に立ち寄ってください。

次回は、6月4日(水) がん診療・緩和ケアセンターの紹介を予定しています。



緩和ケアサロン



持参薬とは？

当院では患者さんが入院される際に、持参薬を薬剤科にて確認させていただいています。

持参薬とは、患者さんが入院時に持ち込まれる普段お使いになっている薬(飲み薬・点眼薬・貼り薬・注射・売薬・サプリメントなど全てのお薬)のことです。薬だけでなく、薬袋、薬の説明書やお薬手帳も大切な情報源ですので必ずお持ちください。

持参薬の確認によって、患者さんには以下のようなメリットがあります。

- ・持参薬と、これから治療のために処方される薬との相互作用がチェックされ、重複投与を避けることができます。
- ・手術や内視鏡検査などの前には中止となる薬を、入院時に確認することができます。
- ・患者さんが普段飲んでいる薬の飲み方についてお役に立つことができます。
- ・健康食品やサプリメントと薬との飲み合わせについても確認することができます。

また、持参薬を管理させていただく中で、かかりつけの開業医の先生や、保険薬局に問い合わせをさせていただく場合があります。お薬に関する正確な情報を得るために、ご理解、ご協力をよろしく願います。

シリーズ ● 職場紹介 ●

その40

【薬剤科の紹介】 その② (調剤室)

1階にある調剤室では、入院患者さんの内服・外用薬の調剤と、院外処方箋の鑑査を行います。正確な調剤を行うためのシステム化により、安全な調剤方法を確立しています。

調剤する際には、薬の用法・用量や他剤との飲み合わせが適切であるか、患者さんの状態に合わせて処方されているかなどの内容を確認します。あわせて、入院患者さんへの薬剤管理指導も行います。各病棟にそ

れぞれ担当薬剤師が所属し、入院患者さんの薬剤管理を行います。入院当初に服用されている薬(持参薬)、副作用歴、アレルギー歴等を確認させていただきます。入院中に使用する薬について、薬効や飲み方、使い方、保管方法などをご説明し、服用することに問題がないか確認し

ます。また副作用の早期発見にも努めます。

今後もより安心・安全な薬物療法の支援ができるよう、一同努力していきます。





新任医師の紹介 平成26年1月～4月1日



乳腺内分泌外科

小松 哲

(こまつ あきら)
平成11年卒業
平成26年1月18日着任
前勤務病院
前澤病院



産婦人科

大岡 尚実

(おおおか なおみ)
平成22年卒業
平成26年2月1日着任
前勤務病院
信大病院



循環器内科

羽生 壮史郎

(はにゅう そうしろう)
平成13年卒業
平成26年4月1日着任
前勤務病院
東京通信病院



消化器外科

荻原 裕明

(おぎわら ひろあき)
平成13年卒業
平成26年4月1日着任
前勤務病院
信大病院



消化器内科

菅沼 孝紀

(すがぬま たかのり)
平成16年卒業
平成26年4月1日着任
前勤務病院
がん研有明病院



消化器内科

石井 重登

(いしい しげと)
平成19年卒業
平成26年4月1日着任
前勤務病院
順天堂大病院



歯科口腔外科

宮下 みどり

(みやした みどり)
平成19年卒業
平成26年4月1日着任
前勤務病院
厚生連安曇総合病院



救急科

武井 隼人

(たけい はやと)
平成21年卒業
平成26年4月1日着任
前勤務病院
公立豊岡病院



放射線診断科

伊奈 廣信

(いな ひろのぶ)
平成22年卒業
平成26年4月1日着任
前勤務病院
信大病院



消化器内科

北野 真希子

(きたの まきこ)
平成23年卒業
平成26年4月1日着任
前勤務病院
信大病院



耳鼻咽喉科

北野 友裕

(きたの ともひろ)
平成23年卒業
平成26年4月1日着任
前勤務病院
信大病院



小児科

勝又 優

(かつまた ゆう)
平成24年卒業
平成26年4月1日着任
前勤務病院
県立須坂病院



麻酔科

三宅 幸司

(みやけ こうし)
平成24年卒業
平成26年4月1日着任
前勤務病院
伊那中央病院



初期研修医

一戸 記人

(いちのへ ぶみひと)
平成25年卒業
平成26年4月1日着任



初期研修医

水木 将

(みずき まさる)
平成25年卒業
平成26年4月1日着任



初期研修医

横田 陽

(よこた よう)
平成25年卒業
平成26年4月1日着任



初期研修医

片岡 将宏

(かたおか まさひろ)
平成26年卒業
平成26年4月1日着任



初期研修医

渡辺 彩

(わたなべ あや)
平成26年卒業
平成26年4月1日着任



初期研修医

毛涯 秀一

(けがい しゅういち)
平成26年卒業
平成26年4月1日着任



初期研修医

清水 純

(しみず じゅん)
平成26年卒業
平成26年4月1日着任



初期研修医

大島 諒士

(おおしま りょうじ)
平成26年卒業
平成26年4月1日着任



初期研修医

渡邊 築

(わたなべ きたく)
平成26年卒業
平成26年4月1日着任



初期研修医(歯科)

牧野 貴明

(まきの たかあき)
平成26年卒業
平成26年4月1日着任

あ と が き

この春号が発行される頃には、飯田の桜も満開を迎えていることと思います。普段車で通り過ぎていた道も、お花見で歩いてみると、思いがけず新しい発見があったりして楽しいものです。忙しい毎日の中でも、花を見たり、空を見上げたり、心のゆとりを持って過ごしたいと思う今日この頃です。
食養科 高橋裕子

近くの「かかりつけ医」を持ちましょう。市立病院へ初診で来院される場合、かかりつけ医からの紹介による事前予約があると待ち時間が短縮されます。